

ぐんはる

Vol.127

関東学術大会神奈川

考察・検証で
施術のエビデンスを確立



2024

4

日々の研究データを蓄積 柔道整復術のさらなる向上へ

POINT



3月3日、関東学術大会神奈川大会が川崎市のカルッツ川崎で開催された。各県代表が日頃の研究をテーマに論文を発表。また、特別講演では「腰痛のある人が腰痛のない人になるためのいい話」として鎌田修博医師が登壇し、慢性期と急性期の判別が大切であるとして、早期の予防的治療の必要性を訴えた。

特別 公演

—— 腰痛のある人が腰痛のない人になるためのいい話 ——

腰痛を的確に分類 痛みの除去は早期に

腰部の初期治療 患者の満足度は？

現在の日本では腰痛の有症率は各世代とも30%前後に及んでいる。一種の国民病とも言えよう。だが、多様化する腰痛に医療現場も対処できているとは言い難い。アンケートによると腰痛の治療満足度は決して高く

ないのが現状だ。

鎌田先生は痛みの発生メカニズムについての認知が曖昧であり、各症状に分けて考えることができていないと指摘。「腰痛を全て同じ概念で治療しようとする」と大変。急性期か慢性期か、または大人か子供かなど、細かなガイドライン作りが遅れている」と分析した。

どうすれば腰痛に対処できるのか。それには早期の治療が一番だ。腰痛が発生したらまず3ヶ月以内に治癒させるのが望ましい。3ヶ月以上痛みが続くと脳の変性が起き、わずかな痛みにも敏感になる。痛みを抑える機能が衰えてしまうのだ。これを「中枢性感作」という。

気を付けなければいけない危険な腰痛の兆候として「子供の腰痛」、「就寝時の痛み」、

「発熱」を挙げる。特に子供の腰痛は脊椎分離症が関わっていることも多く、安静とコルセットによる固定が良いと指摘。分離症は疲労骨折のようなもので、早期に治療を施せば治癒率も高くなるのだが、無理に運動を継続すると難治性となる。

過剰な運動は禁物 ストレスは溜め込まない

腰痛の注意点として日常生活での動きを上げる。「無理な運動はかえって体を痛めます。腰に負荷をかけるのをやめ、下肢の筋トレ歩行は継続してください」と訴えた。

加えて、ストレスによる腰痛も多く、リラックスする必要性にも触れた。「ある程度の痛みと共存して、無理のない生活スタイルの実践を進めてほしい」



柔整理論 アートからサイエンスへ

ワークショップでは日整学術部の山口登一郎先生が登壇。柔道整復術が保険による施術を継続していくためには「日々施術をする柔道整復師の教育水準を上げることが重要だ」として、確かな知識と技術を継承し制限性のある柔道整復術の実現、後世に伝承できる教育制度の確立が必要と訴えた。

それには現在日整が行なっている「匠の技伝承プロジェクト」が欠かせない。骨折脱臼の整復技術を科学的に解析し、伝

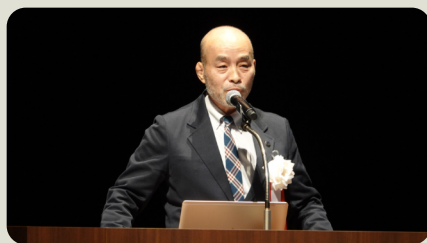
承するプロセスを明らかにすることで次世代柔道整復師と業界のためにアートからサイエンスへとしていかなければならない。これは自分なりの見方を統合して伝えようとするものから、論理的な分析なしには成立しない世界へとシフトすることとなる。

山口先生は「柔道整復業界への発信だけでなく、異業種への発信力の向上、さらにはグローバルに活動して世界へ発信する実をつけよう」と未来の研究に期待を込めた。

従来の方法にとらわれない 患者本位の固定

自らの治療体験を発表したのは樋口弘紀会員。バイク事故で救急搬送後に精密検査すると頭部打撲や顔面の擦過傷、左鎖骨近位端骨折に加え骨幹部から遠位端骨折との診断を受けた。加えて胸骨結合部付近は裂けるように割れており、外側3分の1から遠位端は粉碎骨折を起こしていたという。

固定に創意工夫を凝らし目指すは生活への早期復帰。鎖骨骨折に関しては転位が少ないため、医師と相談し治療には保存療法を選択。トラビクルバンドとアームホルダーで固定処置した。固定部以外の関節は可動域確保のため運動制限なしで関節拘縮予防と筋力低下をできるだ



け抑えた。7週目の固定除去時には変形もなく、運動痛や筋力の低下は残存するものの、関節可動域は生活に支障ないレベルとなる。

今回の体験で「治療効果だけでなく患者さんのQOLを保つこと」の重要性を再確認できたという。近年、接骨院・整骨院での骨折取り扱いが減少傾向にあるが、「従来の方法に囚われず、関節拘縮が発生しない施術を心がけたい」とした。

学術大会当日、会場内の各種ブースでは理学療法機器の展示や実演があった。また、骨折・脱臼の整復実演や超音波機器の使用説明などのワークショップも開催され、訪れた多くの会員が日常の施術に活かそうと熱心に聴講した。



4月の当番施術所

前橋	伊勢崎佐波	桐生みどり	太田	高崎	富岡甘楽
7日(日)					
たつみ接骨院 027-251-3320	なんの接骨院 0270-50-1117	かしわせ接骨院 0277-43-6571 NARI接骨院 0277-76-5005	桑原接骨院 0277-78-6763	林接骨院 027-371-3708 櫻井並榎接骨院 027-322-6658	佐俣接骨院 0274-82-5252
14日(日)					
木暮接骨院 027-232-1540	さかい鍼灸整骨院 0270-76-4690	周藤接骨院 0277-44-5827 高柳接骨院 0277-72-2082	タカラ接骨院 0276-31-2543	萩原接骨院 027-323-8020 さくら整骨院 027-315-5106	あいあい接骨院 0274-64-0052
21日(日)					
小山接骨院 027-237-1259	ねぎし接骨院 0270-22-2350	てらうち本町接骨院 0277-46-9344 くぼづか接骨院 0277-77-2112	木暮接骨院 0276-37-0926	川浦接骨院 090-8058-5360 観音塚牛込接骨院 027-325-5941	田村接骨院 0274-63-1811
28日(日)					
ハート接骨院 027-289-4980	接骨院がく伊勢崎 韭菜院 0270-50-7833	さいとう整骨院 0277-43-8574 ながや接骨院 0277-74-5938	なみき接骨鍼灸院 0276-52-8588	こじま接骨院 027-363-8668 わこう接骨院 027-321-8872	鈴木接骨院 027-373-0108
29日(月)					
さいとう接骨院・ 鍼灸院 027-289-0870	三里堂接骨院 0270-26-7001	ほしの接骨院 0277-76-7042 中里接骨院 0277-52-6336	須永接骨院 0276-48-8008	向井接骨院 027-373-4545 坂井接骨院 027-323-0090	まつばら接骨院 027-384-4793
					鶴田接骨院 0274-64-3301



左の2次元コードからも
アクセスできます。

休日当番は変更となる場合があります。
詳しくは当会ウェブサイトにて、ご確認をお願い致します。



<http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html>

